

KRC WEB REPORT

徒然想

どうやら最近、復刻ブームが密かに盛り上がっているようで、若者の間でカセットテープが注目されているそうです。若い世代にとっては、存在自体が新しく「めんどくさいけど、カッコいい」そうなのです。もちろん一部の若者という事だとは思いますが、カセットテープという響きに懐かしくなりました。なにしろ「カセットテープ」には、私も含めてある年代以上の方々にとっては多くの思い出が詰まっていることでしょう。「鉛筆を入れて巻き戻した」「セロテープ貼って上書きした」「メタルテープには手が出なかった」などなど。レコードもそうですが、デジタルには無い楽しさ(と手間)が確かに存在していた気がします。その楽しさを再発見したのが若い世代だというのも、とても楽しい気持ちになりました。

TECHNICAL TOPICS 今月の技術情報

DX(デジタル・トランスフォーメーション)に向けた取組み

建設分野では、国土交通省が中心となってDX(デジタル・トランスフォーメーション)を推進する体制を構築し、DX推進のための環境整備、実験フィールドの整備等を行うとともに、3次元データ等を活用した新技術の開発や導入促進、これらを活用する人材を育成するなど、インフラ分野のDXに向けた取組みが推進されています。

当社は、創業以来、情報化施工を支柱とし、ある意味、インフラDXとも言える建設情報サービスを提供して参りました。最近では、最新のICT技術を活用したIoTデバイスによるモニタリングシステムの開発やドローンを活用した様々な技術開発を行い、それらの事業展開を図っています。

また、DXに向けた取組みの一環として、積極的にDXに関する学会等へ参加し、情報発信と国内外の最新の技術動向の把握にも努めています。土木学会主催の「i-Constructionの推進に関するシンポジウム」や「AI・データサイエンスシンポジウム」での論文発表をはじめ、2021年11月29・30日に開催予定の第17回3次元フォーラム「SPAR2021J」では、「土木&ドローン」のセッションにおいて、当社の西村相談役(クリエイティブ事業部)が議長を務めることになっています。このセッションでは、各専門技術者の立場から土木分野におけるドローンの活用をはじめ、i-Constructionへの展開について講演頂けるようですので、楽しみにしているところです。

ICT、AI、ドローンや3次元計測などのDX分野の技術革新は、日進月歩です。引き続き、皆さまのニーズに応えられるよう、国内外の最先端の技術に触れ、取り入れるとともに、自らも新たな技術を生み出していきたいと考えています。

●第17回3次元フォーラム「SPAR2021J」「土木&ドローン」セッションの講演内容(抜粋)



土砂災害に備える先進技術～河道閉塞(天然ダム)の調査におけるドローン技術の活用
(中電技術コンサルタント 株式会社)



マルチコックピットによる複数建設機械の遠隔操縦
(株式会社 加藤組)



ドローンの高セキュリティ化と物流への応用
(株式会社 ACSL)

※第17回3次元フォーラム「SPAR2021J」の詳細については、<http://www.sparj.com> をご覧ください。